

第19回  
勉強交流会  
開催報告

『日本初！ビッグデータ  
から読み解く介護の世界』

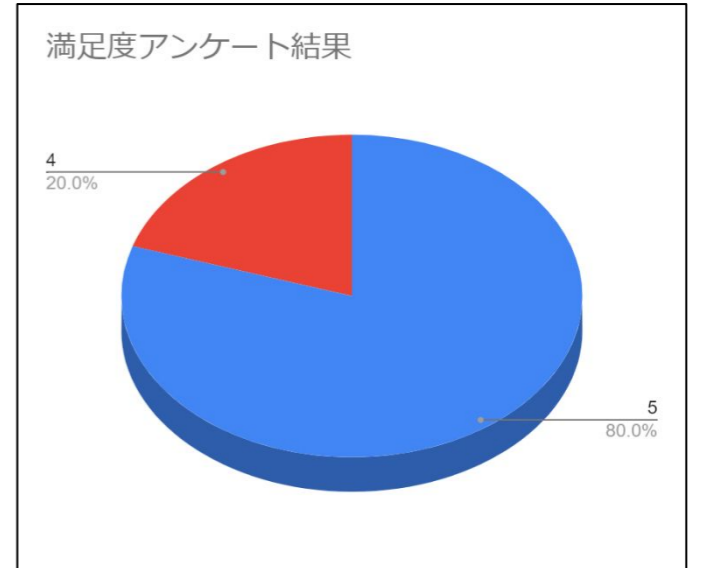
2022年

4月19日 火 18時～20時



<メイン講師>  
池田紫乃氏

名古屋会場、オンライン参加合わせて総勢80名以上の方々に参加頂き、大変盛大な勉強交流会となりました！  
参加下さいましたみなさま、本当にありがとうございました！  
次回は東京でもリアル会場を設営予定です！



本日の感想。多くのお喜びの声を頂戴しております！

- 職員のやる気や幸福度の視える化が認識できた事が収穫でした。ありがとうございました。(訪問鍼灸)
- 現場目線誠にありがとうございます！(デイサービス)
- 貴重なエビデンスに基づく説明に限らず、実際の政治の場での生々しいやり取りも興味深かったです。福祉から国会議員の先生を送り出していくこと、本当に大切なことだと考えます。これからもよろしくお願いします。(社会福祉法人)
- 介護業界にビッグデータの取り組み(LIFE)があることは知らず、その現状を聞き、併せて、その後のディスカッションにて複数の介護事業経営者からのそれに対する本音を聞くことができ、現代そして将来の介護業界を知ることができました。ありがとうございます。(通信機器販売)
- アナログの業界に、データを読み解き、可視化して、課題を解決していく事は顧客満足度・生産性の向上へと繋がる素晴らしい取り組みだと思いました。(公益財団)
- QWLが高いと介護の質も高い、利用者のQOLも高い事がデータ一示され大変わかりやすかったです。(軽費老人ホーム)
- 人の感情をデータ化することは難しいと感じていましたが、池田さんのお話を聞いて、数値化が可能であることとそれによって誰でもわかる(特に現場スタッフ)情報になって、日々の目の前の仕事に置き換えていくことができるのだということが良くわかりました。(介護保険外事業導入サポート)

職員の幸福度が高いと、利用者の生活機能悪化が少ない

表 1a. 職員の仕事満足度・幸福感と、利用者の生活機能悪化との間の相関関係

|       | 要介護3<br>(n=239, 23.9%) | 要介護4<br>(n=395, 39.5%) | 要介護5<br>(n=366, 36.6%) | 全体<br>(n=1,000)  |
|-------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------|
| 仕事満足度 | 1.14 (0.64-2.00)       | 0.83 (0.52-1.33)       | 0.79 (0.48-1.32)       | 0.88 (0.66-1.18) |
| 幸福感   | 0.85 (0.48-1.50)       | 0.50 (0.31-0.81)       | 0.91 (0.55-1.52)       | 0.73 (0.54-0.98) |

表 1b. 職員の仕事満足度・幸福感と、利用者の生活機能悪化との間の補正された関係

|       | Total<br>(n=1,000) |
|-------|--------------------|
| 仕事満足度 | 1.07 (0.79-1.4)    |
| 幸福感   | 0.61 (0.44-0.9)    |

職員のQWLと利用者の生活機能の関係性モデル

パネルディスカッション  
『データから見える介護の世界』  
～職員の働き方とケアの質～

ファシリテーター  
サスケアリンク 理事/社会福祉法人りこう会 理事 和泉逸平氏

パネリスト  
慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター 研究員 池田紫乃氏  
社会福祉法人和敬会 地域密着型複合施設 なごみの郷施設長 太田和敬氏

時代に逆行するために時代の先端をいく

「効率化」という時代に逆行した目標

ICT ロボット

あえてひと手間かけた介護がしたい

介護の質向上のために時代 (ICT・ロボット) の力を借りる

「介護の質」は人材定着や採用とリンクする

職務に対するロイヤルティ ↑

組織に対するロイヤルティ ↑

介護の質向上のための効率化の土台



介護経営の情報サポート『サスケアリンク』

本部事務局: 名古屋市中村区名駅5-23-17  
東京事務局: 東京都江戸川区鹿骨1-22-8-1F  
四国事務局: 愛媛県松山市南齊院町1108-2-302  
Mail: info@suscare.net TEL: 0120-982-419

次回開催情報

2022年5月17日(火)18時～  
講師: 塩崎 恭久氏  
(元 厚生労働大臣)  
「持続可能なヘルスケア体制の構築に向けて」